

<公立入試で面接がある学校>



入試で面接が行われる学校があるって耳にしたけれど、どの学校がそうなんだろう？

私立については、学校ごとに異なるし、併願か専願かによっても異なるから、個別で確認する必要があるで！
公立については、選抜によって決まっているから、どの選抜で行われるかを理解すればええで^^



11月になりました。卒業後の進路に向けて本格的に動き始める時が来ました。
そこで今回は、**公立入試で面接がある学校**について取り上げます。下記に当てはまる人はぜひ最後まで読んでみてください^^

こんな人に読んで欲しい！

- 公立高校へ進学を希望している人
- 自分が希望している公立学校の入試で面接があるかないかがわからない人
- 公立入試の詳しい情報が知りたい人

「知らなかった・・・」と入試直前に慌てることのないよう今のうちにどの選抜で行われるのかを把握しておこう^^



目次

- ① 公立入試で面接がある選抜
- ② 特別選抜
- ③ 海外から帰国した生徒の選抜
- ④ 知的障がい生徒自立支援コース選抜
- ⑤ 一般選抜(通信制の課程)
- ⑥ 二次選抜

① 公立入試で面接がある選抜

令和6年度 大阪府公立高等学校入学者選抜 配点等

選抜	課程・学科等	学力検査					計	調査書							実技検査	面接	作文	小論文	自己申告書	「活動/行動の記録」	推薦書	総合点					
		国語	社会	数学	理科	英語		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健									技家	英語			
特別入学者選抜	全日制の課程 専門学科 工業に関する学科(建築デザイン科、インテリアデザイン科、デザインシステム科、ビジュアルデザイン科、映像デザイン科及びプロダクトデザイン科)、総合造形科、美術科、音楽科及び演劇科	45	45	45	45	45	225	各教科の評定は25点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1)							225	150					○	○		600	*1		
	全日制の課程 総合学科(エンパワメントスクール)	45	45	45	45	45	225	各教科の評定は25点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1)							225	225					○	○		675	*1		
	全日制の課程 総合学科(エンパワメントスクール)	45	45	45	45	45	225	各教科の評定は25点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1)							225	100					○	○		550	*1		
一般入学者選抜	全日制の課程 総合学科(多様な教育実践校)	45		45		45	225	各教科の評定は25点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1)で算出し、教科書の合計点を225/300倍する。							225						△	○		450	*3		
	多部制単位制Ⅰ部及びⅡ部(クリエイティブスクール)	45	45	45	45	45	225	各教科の評定は25点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1)							225						★○	★○	★○	450	*2		
	昼夜間単位制	45	45	45	45	45	225	各教科の評定は25点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1)							225						○	○	○	225			
	大阪府立中高等学校転勤分校に係る入学者選抜	45	45	45	45	45	225	各教科の評定は25点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1)							225	18						9△	9△	1,050			
	本人及び保護者の住所が転勤町又は豊後町にある者	45	45	45	45	45	225	各教科の評定は25点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1)							225	18						9△	9△	750			
	海外から帰国した生徒の入学者選抜			45		45	90															△		90			
	日本語能力が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜			45		45	90																△		90		
	知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜							※														○	△	○	○		
	全日制の課程 普通科(単位制を除く) 専門学科(商業に関する学科、工業に関する学科(特別入学者選抜実施学科を除く)、商業に関する学科、グローバルビジネス科、食物文化科、福祉ボランティア科、造形科、総合科学科、サイエンス創造科、英語科、国際文化科、グローバル科、文芸学科及び数学実習科) 総合学科(エンパワメントスクール、多様な教育実践校及びクリエイティブスクールを除く)	90	90	90	90	90	450	各教科の評定は50点満点 (3学年の評定×6+2学年の評定×2)							450							○	○		900	*2	
	一般入学者選抜	全日制の課程 普通科単位制 全日制の課程 総合学科(クリエイティブスクール)	90	90	90	90	90	450	各教科の評定は50点満点 (3学年の評定×6+2学年の評定×2)							450							○	○		900	*2
特別選抜	学力検査及び面接(過年度卒)	90	90	90	90	90	450															○	○	△	450		
	定時制の課程	90		90		90	270	各教科の評定は30点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1.2)							270							○	○		540	*2	
	学力検査及び面接(満21歳以上)	90		90		90	270															○	○	△	270		
	小論文及び面接(満21歳以上)																					○	○	△			
通信制の課程	面接(満21歳以上)							各教科の評定は25点満点 (3学年の評定×3+2学年の評定×1+1学年の評定×1)							225								○	△	△	225	
二次入学者選抜							○															○	△	○			
知的障がい生徒自立支援コース補充入学者選抜							※															○	△	○	○		

*1 学力検査の成績の合計と調査書の評定の合計に、各高校が選抜し教育委員会が決定した倍率をそれぞれ乗じて合計し面接検査の点数を加え総合点とします。
*2 学力検査の成績の合計と調査書の評定の合計に、各高校が選抜し教育委員会が決定した倍率をそれぞれ乗じて合計し総合点とします。
*3 学力検査の成績の合計と調査書の評定の合計に、これまでの学び等に関する評価、面接を「高校生活に対する意欲等に関する評価」とし、それぞれを府教育委員会が別に定める比率に基づき一定の幅に区分したうえで、段階による評価を行います。
調査書の教科名において、「(単位)は保健体育」「(技家)は技術・家庭を表す。
○印については、面接の資料とするが、配点は定めない。
★印については、面接、自己申告書、調査書(活動/行動の記録)の評価の比率を、2:1とする。
△印については、面接をA~Dの10段階で評価する。

画像引用:令和6年度 大阪府公立高等学校入学者選抜 配点等

https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6221/00450741/R6_haiten.pdf

② 特別選抜

2 全日制の課程総合学科(エンパワメントスクール)

学 科 名	高 等 学 校 名	
	府 立	
総 合 学 科	淀川清流、成城、長吉、箕面東、布施北、和泉総合	

3 全日制の課程総合学科(多様な教育実践校)

学 科 名	高 等 学 校 名	
	府 立	
総 合 学 科	西成、岬	

4 多部制単位制Ⅰ部及びⅡ部(クリエイティブスクール)並びに昼夜間単位制

課 程 等 名	高 等 学 校 名	
	府 立	
多部制単位制Ⅰ部及びⅡ部 普 通	大阪わかば	
昼 夜 間 単 位 制 普 通 ビ ジ ネ ス 科	中央	

出願	出願書類	検査内容	面接	入学者の決定方法	合格発表																																						
全日制の課程総合学科 (エンパワーメントスクール)	2月14日(水) 2月15日(木) 午前9時～午後4時	学力検査と面接 ア 2月20日(火) <table border="1"> <tr><th>時限</th><th>第1時</th><th>第2時</th><th>第3時</th><th>第4時</th><th>第5時</th></tr> <tr><td>検査教科</td><td>国語</td><td>数学</td><td>英語</td><td>理科</td><td>社会</td></tr> <tr><td>時間</td><td>40分</td><td>40分</td><td>40分</td><td>40分</td><td>40分</td></tr> <tr><td>時刻</td><td>9:00 9:40</td><td>10:00 10:40</td><td>11:00 11:40</td><td>11:50 12:05</td><td>13:00 13:40</td></tr> <tr><td>配点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td></tr> </table> イ 2月21日(水) <table border="1"> <tr><th>時間</th><th>面接</th></tr> <tr><td>時間</td><td>——</td></tr> <tr><td>時刻</td><td>9:00から 班ごとに実施</td></tr> <tr><td>配点</td><td>——</td></tr> </table>	時限	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	検査教科	国語	数学	英語	理科	社会	時間	40分	40分	40分	40分	40分	時刻	9:00 9:40	10:00 10:40	11:00 11:40	11:50 12:05	13:00 13:40	配点	4.5点	4.5点	4.5点	4.5点	4.5点	時間	面接	時間	——	時刻	9:00から 班ごとに実施	配点	——	自己申告書および調査書中の活動／行動の記録に基づいて 集団面接 を行う。	下記の左図を参照	2月29日(木) 午後2時
時限		第1時	第2時	第3時	第4時	第5時																																					
検査教科		国語	数学	英語	理科	社会																																					
時間	40分	40分	40分	40分	40分																																						
時刻	9:00 9:40	10:00 10:40	11:00 11:40	11:50 12:05	13:00 13:40																																						
配点	4.5点	4.5点	4.5点	4.5点	4.5点																																						
時間	面接																																										
時間	——																																										
時刻	9:00から 班ごとに実施																																										
配点	——																																										
全日制の課程総合学科 (多様な教育実践校)	ア 2月20日(火) <table border="1"> <tr><th>時限</th><th>第1時</th><th>第2時</th><th>第3時</th></tr> <tr><td>検査教科</td><td>国語</td><td>数学</td><td>英語</td></tr> <tr><td>時間</td><td>40分</td><td>40分</td><td>40分</td></tr> <tr><td>時刻</td><td>9:00 9:40</td><td>10:00 10:40</td><td>11:00 11:40</td></tr> <tr><td>配点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td></tr> </table> イ 2月21日(水)又は22日(木) <table border="1"> <tr><th>時間</th><th>面接</th></tr> <tr><td>時間</td><td>——</td></tr> <tr><td>時刻</td><td>9:00から 実施</td></tr> <tr><td>配点</td><td>——</td></tr> </table> <small>※志願者ごとの面接の実施日時等は、出願時に示す。</small>	時限	第1時	第2時	第3時	検査教科	国語	数学	英語	時間	40分	40分	40分	時刻	9:00 9:40	10:00 10:40	11:00 11:40	配点	4.5点	4.5点	4.5点	時間	面接	時間	——	時刻	9:00から 実施	配点	——	「対面による面接」と「筆頭による面接」の2種類の面接方法を設け、志願者は出願時に面接方法を申告する。「対面による面接」は 個人面接 とする。 面接の質問内容については、 令和6年度大阪府公立高等学校入学者選抜〔総合学科(多様な教育実践校)における面接の内に] に基づいて行う。	下記の右図を参照												
時限	第1時	第2時	第3時																																								
検査教科	国語	数学	英語																																								
時間	40分	40分	40分																																								
時刻	9:00 9:40	10:00 10:40	11:00 11:40																																								
配点	4.5点	4.5点	4.5点																																								
時間	面接																																										
時間	——																																										
時刻	9:00から 実施																																										
配点	——																																										
多部制単位制Ⅰ部Ⅱ部 (クリエイティブスクール) & 昼夜間単位制	①入学志願書 ②自己申告書 ③入学検定料(950円) (④英語資格を活用する人は証明書の写し) (⑤必要な人のみ入学志願特別事情申告書)	ウ 2月20日(火) <table border="1"> <tr><th>時限</th><th>第1時</th><th>第2時</th><th>第3時</th><th>第4時</th><th>第5時</th></tr> <tr><td>検査教科</td><td>国語</td><td>数学</td><td>英語</td><td>理科</td><td>社会</td></tr> <tr><td>時間</td><td>40分</td><td>40分</td><td>40分</td><td>40分</td><td>40分</td></tr> <tr><td>時刻</td><td>9:00 9:40</td><td>10:00 10:40</td><td>11:00 11:40</td><td>11:50 12:05</td><td>13:00 13:40</td></tr> <tr><td>配点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td><td>4.5点</td></tr> </table> イ 2月21日(水) <table border="1"> <tr><th>時間</th><th>面接</th></tr> <tr><td>時間</td><td>——</td></tr> <tr><td>時刻</td><td>9:00から 班ごとに実施</td></tr> <tr><td>配点</td><td>——</td></tr> </table>	時限	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	検査教科	国語	数学	英語	理科	社会	時間	40分	40分	40分	40分	40分	時刻	9:00 9:40	10:00 10:40	11:00 11:40	11:50 12:05	13:00 13:40	配点	4.5点	4.5点	4.5点	4.5点	4.5点	時間	面接	時間	——	時刻	9:00から 班ごとに実施	配点	——	自己申告書および調査書中の活動／行動の記録に基づいて 集団面接 を行う。	下記の左図を参照	
時限	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時																																						
検査教科	国語	数学	英語	理科	社会																																						
時間	40分	40分	40分	40分	40分																																						
時刻	9:00 9:40	10:00 10:40	11:00 11:40	11:50 12:05	13:00 13:40																																						
配点	4.5点	4.5点	4.5点	4.5点	4.5点																																						
時間	面接																																										
時間	——																																										
時刻	9:00から 班ごとに実施																																										
配点	——																																										

大阪府公立高等学校入学者選抜の方法

○ 特別入学者選抜
◀面接を実施する場合(多様な教育実践校を除く)▶

<Step 1>
学力検査の成績が、府教育委員会が定める基準に達した者の中から、A=面接、B=自己申告書、C=調査書の「活動/行動の記録」を資料として、「学校のアドミッションポリシー(求める生徒像)」に最も適合する者から順に、募集人員の50%を上限として合格者を決定する。その際の評価の比率は、A:B:C=2:1:1とする。

<Step 2>

学力検査						学力検査の成績(①)
教科	国語	社会	数学	理科	英語	
配点	45点	45点	45点	45点	45点	225点

調査書

⑨教科の評定は各25点(3学年の評定×3倍+2学年の評定×1倍+1学年の評定×1倍)とする。
(⑨教科:国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語)

調査書の評定(②)	
調査書の評定	225点

総合点
高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定したタイプにより、「学力検査の成績(①)」と「調査書の評定(②)」にそれぞれの倍率をかけて合計し、総合点を算出。

タイプ	学力検査の成績(①)にける倍率(点数)	調査書の評定(②)にける倍率(点数)	総合点	【参考】学力検査の成績:調査書の評定
I	1.4倍(315点)	0.6倍(135点)	450点	7:3
II	1.2倍(270点)	0.8倍(180点)		6:4
III	1.0倍(225点)	1.0倍(225点)		5:5
IV	0.8倍(180点)	1.2倍(270点)		4:6
V	0.6倍(135点)	1.4倍(315点)		3:7

全日制の課程総合学科(多様な教育実践校)

高等学校長は、志願者数が募集人員を超過すると否とにかかわらず、次の要領により入学者の選抜を行う。

- 高等学校長は、選抜のための補助機関として選抜委員会を組織し、厳正で円滑な選抜事務の遂行を図る。
- 選抜の資料は、調査書、学力検査の成績及び面接の評価とし、自己申告書を面接の参考資料とする。
- 選抜に当たっては、面接による「高校生活に対する意欲等に関する評価(以下「意欲に関する評価」という。)」並びに学力検査の成績及び調査書中の各学年の必修の全教科の評定の合計により算出する「これまでの学び等に関する評価(以下「学びに関する評価」という。)」をそれぞれ一定の幅に区分し、それらを組み合わせた評価により選抜を行う。
なお、意欲に関する評価及び学びに関する評価の比率は2:1とし、意欲に関する評価と学びに関する評価を組み合わせた評価の算出に当たっては、次のように行う。
ア 意欲に関する評価は、その高等学校のアドミッションポリシー(求める生徒像)に照らして、AからJの10段階で評価する。(900点満点)
イ 学びに関する評価の算出に当たっては、次のように行う。
(ア) 学力検査の各教科の成績を合計した点数を135で除したものを225倍する。(225点満点)
(イ) 教科ごとに調査書中の各学年の評定を合計する。その際、第3学年の評定を3倍する。
受験者ごとに調査書の評定の高い3教科について、その評定をそれぞれ2倍し、調査書中の必修の全教科の評定を合計する。その合計を300で除したものを225倍する。(225点満点)
(ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数を合計(450点満点)し、50点ごとに9グループに分け、学びに関する評価とする。
ウ 受験者ごとに意欲に関する評価及び学びに関する評価を次の表にあてはめ、属する群を決定する。

【表】

グループ	配点(換算点)	意欲に関する評価									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	400<得点≤450	1群	3群	5群	7群	9群	11群	13群	15群	17群	19群
2	350<得点≤400	2群	4群	6群	8群	10群	12群	14群	16群	18群	20群
3	300<得点≤350	3群	5群	7群	9群	11群	13群	15群	17群	19群	21群
4	250<得点≤300	4群	6群	8群	10群	12群	14群	16群	18群	20群	22群
5	200<得点≤250	5群	7群	9群	11群	13群	15群	17群	19群	21群	23群
6	150<得点≤200	6群	8群	10群	12群	14群	16群	18群	20群	22群	24群
7	100<得点≤150	7群	9群	11群	13群	15群	17群	19群	21群	23群	25群
8	50<得点≤100	8群	10群	12群	14群	16群	18群	20群	22群	24群	26群
9	得点≤50	9群	11群	13群	15群	17群	19群	21群	23群	25群	27群

- 合格者の決定に当たっては、次のように行う。
1群から順に、各群に含まれる受験者数の累計が募集人員を満たすよう合格群を決定し、合格群に含まれる者を合格とする。このとき、合格者数が募集人員を超過してもよいものとする。
ただし、合格者数が、府教育委員会が別に定める人数(以下「増員可能数」という。)を超過する場合は、募集人員に到達した群に含まれる受験者の中から、面接の評価等に基づき、募集人員を満たすとともに増員可能数を超過しないよう、合格者を決定する。
- 合格者の決定に当たって、(2)、(3)及び(4)に従うことが実際にはなほだしく困難な場合は、高等学校長は、府教育委員会の承認を受けてこれを変更することができる。
- 高等学校長は、1月31日(水)までに選抜実施計画を府教育委員会に報告する。

③ 海外から帰国した生徒の選抜

海外から帰国した生徒の入学者選抜実施校

(全日制の課程)

学 科 名	高 等 学 校 名	
	府 立	市 立
総 合 科 学 科	住吉、千里、泉北	_____
英 語 科	東、いちりつ	東大阪市立日新
国 際 文 化 科	旭、枚方、花園、長野、佐野、住吉、千里、泉北	_____
グ ロ ー バ ル 科	箕面、和泉	_____
グ ロ ー バ ル 探 究 科	水都国際	_____

- 1 志願できる者
 - ・ 原則として、外国において継続して2年以上在留し、帰国後2年以内の者とする。
- 2 学力検査等
 - ・ 学力検査及び面接を実施する。
 - ・ 学力検査は、数学及び英語とする。
- 3 選抜資料等
 - ・ 中学校長からの調査書の提出は不要とする。
 - ・ 学力検査の成績及び面接の評価を選抜の資料とする。
 - ・ 自己申告書を面接の参考資料とする。

	出願	出願書類	検査内容	面接	入学者の決定方法	合格発表																									
海外から帰国した生徒の選抜	2月14日(水) 2月15日(木) 午前9時～午後4時	①入学志願書 ②自己申告書 ③ 外国の在留期間および帰国時期を証明する資料 ④入学検定料(2,200円) (⑤英語資格を活用する人は証明書の写し) (⑥必要な人のみ入学志願特別事情申告書)	学力検査と面接 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>時 限</th> <th>第1時</th> <th>第2時</th> <th colspan="2">第3時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査教科等</td> <td>面 接</td> <td>数 学</td> <td colspan="2">英 語</td> </tr> <tr> <td>時 間</td> <td>—</td> <td>40分</td> <td>40分</td> <td>リスニングテスト 15分</td> </tr> <tr> <td>時 刻</td> <td>9:00から 個人別 に実施</td> <td>10:00 } 10:40</td> <td>11:00 } 11:40</td> <td>11:50 } 12:05</td> </tr> <tr> <td>配 点</td> <td>—</td> <td>45点</td> <td colspan="2">45点</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">受験者が希望する和訳辞書1冊の持込みを可能とする。ただし、英和辞典および英語が記載されているものは英語の学力検査では使用できない。使用する辞書は、2月19日(月)正午までに志願先高等学校長に提出する。</p>	時 限	第1時	第2時	第3時		検査教科等	面 接	数 学	英 語		時 間	—	40分	40分	リスニングテスト 15分	時 刻	9:00から 個人別 に実施	10:00 } 10:40	11:00 } 11:40	11:50 } 12:05	配 点	—	45点	45点		自己申告書に基づき、日本語による 個人面接 を行う。	下記の図を参照	2月29日(木) 午後2時
時 限	第1時	第2時	第3時																												
検査教科等	面 接	数 学	英 語																												
時 間	—	40分	40分	リスニングテスト 15分																											
時 刻	9:00から 個人別 に実施	10:00 } 10:40	11:00 } 11:40	11:50 } 12:05																											
配 点	—	45点	45点																												

高等学校長は、次の要領により入学者の選抜を行う。

- 1 高等学校長は、選抜のための補助機関として選抜委員会を組織し、厳正で円滑な選抜事務の遂行を図る。
- 2 選抜の資料は、学力検査の成績及び面接の評価とする。
- 3 合格者の決定に当たっては、学力検査の成績及び面接の評価を組み合わせ総合判定する。
- 4 合格者の決定に当たって、「2」及び「3」に従うことが実際にはなはだしく困難な場合は、高等学校長は、所管の教育委員会の承認を受けてこれを変更することができる。
- 5 高等学校長は、1月31日(水)までに選抜実施計画を所管の教育委員会に報告する。

④ 知的障がい生徒自立支援コース選抜

知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜実施校

(全日制の課程)

学科名等	高等学校名
	府立
普通科 知的障がい生徒自立支援コース	桜宮、阿武野、八尾翠翔
フラワーファクトリ科・環境緑化科・バイオサイエンス科 知的障がい生徒自立支援コース	園芸
機械工学科・電気工学科・理工学科 知的障がい生徒自立支援コース	東淀工業
総合学科 知的障がい生徒自立支援コース	柴島、枚方なぎさ、松原、堺東、貝塚
総合学科 (多様な教育実践校) 知的障がい生徒自立支援コース	西成

- 1 志願できる者
 - ・ 次の(1)～(3)のいずれにも該当する者とする。
 - (1) 令和6年3月に大阪府内の中学校を卒業する見込みの者
 - (2) 療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障がいを有すると判定を受けた者
 - (3) 自主的な通学が可能である者
- 2 学力検査等
 - ・ 学力検査を実施せず、面接を実施する。
- 3 選抜資料等
 - ・ 中学校長が提出する書類は、調査書及び推薦書とする。
 - ・ 調査書、推薦書及び面接を選抜の資料とする。
 - ・ 自己申告書を面接の参考資料とする。

	出願	出願書類	検査内容	面接	入学者の決定方法	合格発表								
知的障がい生徒 自立支援コース選抜	2月14日(水) 2月15日(木) 午前9時～午後4時	①入学志願書 ②自己申告書 ※原則として志願者の自筆とするが、志願者が保護者等と相談のうえ、他の者が記入してもよい。 ③療育手帳の写しまたは知的障がいを有するという判定の写し ④入学検定料(2,200円) (⑤英語資格を活用する人は証明書の写し) (⑥必要な人のみ入学志願特別事情申告書)	面接(学力検査は実施しない) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>高等学校名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2月19日 月</td> <td>桜宮、阿武野、八尾翠翔、東淀工業、柴島、西成、堺東</td> </tr> <tr> <td>2月20日 火</td> <td>園芸、枚方なぎさ、松原、貝塚</td> </tr> <tr> <td>2月21日 水</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	高等学校名	2月19日 月	桜宮、阿武野、八尾翠翔、東淀工業、柴島、西成、堺東	2月20日 火	園芸、枚方なぎさ、松原、貝塚	2月21日 水	_____	・志願者全員について各高等学校長が、当該高等学校において行う。 ・自己申告書に基づいて、個人面接で行う。 ・保護者の同伴を原則とする。 ・時間については、出願時に、当該高等学校長が示す。	下記の図を参照	2月29日(木) 午後2時
実施日	高等学校名													
2月19日 月	桜宮、阿武野、八尾翠翔、東淀工業、柴島、西成、堺東													
2月20日 火	園芸、枚方なぎさ、松原、貝塚													
2月21日 水	_____													

高等学校長は、志願者数が募集人員を超過すると否とにかかわらず、次の要領により入学者の選抜を行う。

- 1 高等学校長は、選抜のための補助機関として選抜委員会を組織し、厳正で円滑な選抜事務の遂行を図る。
- 2 選抜の資料は、調査書、推薦書及び面接とする。
- 3 合格者の決定に当たっては、調査書及び推薦書中の記載事項並びに面接の内容をもとに総合判定し、募集人員を満たすよう合格者を決定する。
- 4 合格者の決定に当たって、「2」及び「3」に従うことが実際にはなほだしく困難な場合は、高等学校長は、府教育委員会の承認を受けてこれを変更することができる。
- 5 高等学校長は、1月31日(水)までに選抜実施計画を府教育委員会に報告する。

知的障がい生徒自立支援コース

本コースは、大阪府学校教育審議会答申(「高等学校における知的障がいのある生徒の受入れ方策について」)(平成17年8月)に基づき、知的障がいのある生徒が社会的自立を図ることができるよう、高等学校において一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行い、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する環境を整備していく観点から設置するものである。

⑤ 一般選抜(通信制の課程)

4 通信制の課程

学 科 名	高 等 学 校 名
普 通 科	府 立 桃 谷

4-1 満21歳未満の者(平成15年4月2日以降に生まれた者)

- (1) 学力検査等
 - ・ 学力検査を実施せず、面接を実施する。
- (2) 選抜資料等
 - ・ 調査書及び面接の評価を選抜の資料とする。
 - ・ 自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録を面接の参考資料とする。

	出願	出願書類	検査内容	面接	入学者の決定方法	合格発表
一般選抜(通信制の課程)	3月1日(金) 午後2時～午後5時 3月3日(日) 午後2時～午後7時 3月4日(月) 午後2時～午後5時	①入学志願書 ②自己申告書 ③合格者の発表通知用封筒(当該高等学校に備え つけられている所定の封筒に510円分の郵便切手 を貼付したしたもの) ④入学検定料(800円) (⑤必要な人のみ入学志願特別事情申告書)	面接(学力検査は実施しない) 面接の日時は、3月7日(木)、8日(金)、10日(日)の中から、志願 者が出願時に選択する。	自己申告書および調査書中 の活動/行動の記録に基づ き、志願者全員について、 高等学校長が当該高等学校 において、 個人面接 で行う。	下記の図を参照	3月19日(火) 午後2時

- ア 選抜の資料は、調査書及び面接の評価とする。
- イ 合格者の決定に当たっては、調査書及び面接の評価を組み合わせる総合判定する。
- ウ 第2志望者がある部にあつては、まず第1志望者について選抜を行い、その合格者数が募集人員
に満たないときは、第2志望者の中から合格者を補う。

二次入学者選抜は、令和6年度大阪府公立高等学校入学者選抜実施校のうち、特別入学者選抜、
大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜及び一般入学者選抜を実施する学科等において、
合格者数が募集人員に満たない場合において実施する。

- 1 志願できる者
 - ・ 次の(1)～(3)のいずれかに該当する者とする。ただし、高等学校若しくはこれに準ずる学校、
中等教育学校後期課程又は高等専門学校に在籍している者は出願することはできない。
 - (1) 本入学者選抜出願時に国公立の高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部のうち、
いずれの入学者選抜にも合格していない者(出願していない者を含む。)又は合格して
も必要な手続きをしなかったため入学の資格を失った者
 - (2) 中等教育学校前期課程を修了見込みの者であつて後期課程に進級しないことが確定して
いる者のうち、(1)に該当する者
 - (3) 併設型中高一貫教育における併設中学校を卒業見込みの者であつて併設高等学校に進学
しないことが確定している者のうち、(1)に該当する者

⑥ 二次選抜

	出願	出願書類	検査内容	面接	入学者の決定方法	合格発表
全日制の課程 & 多部制単位制Ⅰ部Ⅱ部 (クリエイティブスクール) & 昼夜間単位制 ----- 定時制 & 通信制	3月25日(月) 午前9時～正午	①入学志願書 ②自己申告書 ③入学検定料 全日制:2,200円 多部制単位制Ⅰ部Ⅱ部(クリエイティブスクール) 昼夜間単位制:950円 定時制:950円 通信制:800円 (④必要な人のみ入学志願特別事情申告書)	面接(学力検査は実施しない) 面接の日時は3月25日(月)	・志願者全員について、出願 時に各高等学校長が当該高 等学校において行う。 ・自己申告書に基づいて、 個 人面接 で行う。	下記の図を参照	3月27日(水) 午前10時 ----- 3月27日(水) 午後2時

- 高等学校長は、志願者数が募集人員を超過すると否とにかかわらず、次の要領により入学者の選抜を行
う。
- 1 高等学校長は、選抜のための補助機関として選抜委員会を組織し、厳正で円滑な選抜事務の遂行を図る。
 - 2 選抜の資料は、調査書及び面接の評価とする。
 - 3 合格者の決定に当たっては、調査書中の記載事項及び面接の評価を組み合わせる総合判定する。
 - 4 全日制の課程、多部制単位制Ⅰ部及びⅡ部(クリエイティブスクール)、昼夜間単位制並びに定時制の
課程において、複数の学科等を設置している高等学校における各学科等の合格者の決定は、次のように行
う。
 - (1) すべての受験者を、第1志望の学科等に関係なく総合判定の結果の高い者から順に並べる。
 - (2) 総合判定の結果の高い者から順に、第1志望の学科等に振り分ける。

- (3) (2)において各学科等の募集人員に当たる人数に先に達した学科等について、総合判定の結果の高い
者から順に募集人員を満たすよう合格者を決定する。
- (4) すでに合格となった者及び(3)において選抜を行った学科等のみを志望している者を除き、(1)、(2)、
(3)の手順を繰り返し、各学科等の合格者を決定する。
ただし、(2)において、第1志望の学科等にすでに不合格となり、他の学科等を第2志望としていた
者については、第2志望の学科等を第1志望として扱う。
- 5 通信制の課程においては、第2志望者がある部にあつては、まず第1志望者について選抜を行い、その
合格者数が募集人員に満たないときは、第2志望者の中から合格者を補う。
- 6 合格者の決定に当たって、「2」、「3」、「4」及び「5」に従うことが実際にはなほだしく困難な
場合は、高等学校長は、所管の教育委員会の承認を受けてこれを変更することができる。

まとめ

今回は公立入試 面接がある学校について解説しました。

ポイント

- ① 公立入試で面接が行われるのは5つの選抜においてである。
- ② 特別選抜と海外から帰国した生徒の選抜では学力検査と面接の両方が行われる。
- ③ 選抜によって個人面接か集団面接かが異なる。



テスト(学力試験)だけ準備すればいいと思っていたけれど、面接が行われる公立入試もあるんだね！
面接についての準備も余裕を持ってしておきたいな…。

入試だけでなく、将来アルバイトや就職する際に面接を受けることもあるから、全員が面接について勉強しといた方がええな^^
今後、進路通信で面接についても配信する予定やで～



今回の通信を作成するにあたり参考にしたHP・資料へのリンクを下記に載せておきます。

HP 大阪府 | 令和6年度公立高等学校入学者選抜

https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/gakujii-g3/r06_kokosenbatsu.html

資料 令和6年度大阪府公立高等学校入学者選抜実施要項(令和5年10月13日公表)

1.一般的な事項 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6221/00460497/07_R6_zenpan.pdf

実施校 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6221/00460497/09_R6_jissikou.pdf

2.特別入学者選抜 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6221/00460497/11_R6_tokubetsu1.pdf

4.海外から帰国した生徒の入学者選抜 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6221/00460497/15_R6_tokubetsu3.pdf

6.知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6221/00460497/19_R6_tokubetsu5.pdf

7.一般入学者選抜 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6221/00460497/21_R6_ippoan.pdf

8.二次入学者選抜 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6221/00460497/23_R6_niji.pdf

資料 <令和5年6月20日> 令和6年度大阪府公立高等学校入学者選抜について

https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6221/00450741/R6_senbatsuhouhou_tokubetsu_mensetsu.pdf

最後に、世界的に有名な元プロ野球選手のイチロー選手の名言で締めくくりたいと思います。

何かを長時間、成し遂げるためには考えや行動を一貫させる必要がある。